

廃溶剤リサイクル装置でタイの社会問題解決

～化学物質廃棄量の削減と公害関連政策の促進に貢献～

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」においてコーベックス株式会社(兵庫県神戸市、平山季藤代表取締役)が提案する「有害廃棄物質再生装置の導入による有害廃棄物処理能力改善と静脈産業の高度化に関する案件化調査」(タイ)を採択しました。

急速な工業化を達成したタイでは公害対策の遅れから化学物質の無秩序な排出により、2000年代後半に公害被害が社会問題化しています。タイ政府は公害被害を未然に防ぐため、発展途上国の中では先進的な国家レベルでの公害対策(化学物質排出移動量届出制度:PRTR制度)の制度化を目指しています。

コーベックス株式会社が提案する「クリーンエース 800 シリーズ」は使用済みの有機溶剤をスチーム加熱による真空蒸留方式で不純物を除去し、回収溶剤の再利用を可能にする製品です。



蒸留装置本体



使用済みの廃溶剤



蒸留装置でリサイクルした溶剤

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第1回分は本年2月に公示を行いました。117件の応募のうち35件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第1回公示の採択結果について

URL:<http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第一課 中山

TEL: 078-261-0397 E-mail: Nakayama.Shigehiko@jica.go.jp